



吉野熊野国立公園

7/12
(土)

森のふしぎな生きもの 「粘菌」の観察会



日 時：2025 年 7 月 12 日（土）9:30～12:00 （受付開始 9:15～）

※小雨決行。天候等により 7 月 19 日（土）に延期する場合があります。

※延期の場合は前日の 16:00 頃にお電話します。

開催当日に延期・中止が決定された場合は 7:30 までにお電話します。

集合・解散：和歌山県立潮岬青少年の家（和歌山県東牟婁郡串本町潮岬 669）

参加対象：小学生以上（小学生は保護者同伴）

定 員：15 名（申込先着順）

参加費：100 円（保険代+資料代）

持ち物：野外活動ができる格好・帽子・軍手・筆記用具・飲料（環境配慮のためマイボトル等推奨）・虫対策用品・雨対策用品・熱中症対策用品・その他各自必要なもの

講 師：川上 新一 氏（和歌山県立自然博物館 学芸員）

問合せ・申込み先

環境省 宇久井ビジターセンター

〒649-5312 和歌山県東牟婁郡那智勝浦町宇久井 830

電話：0735-54-2510（9:00～17:00・水曜日休館）E-mail：info_ev@ugui-vc.jp

電話・E-mail にて、「粘菌の観察会」と明記し、氏名・住所・年齢（学年）・電話番号（当日連絡がとれる電話番号）を添えてお申込みください。

（※いただいた個人情報については主催者で厳重に管理し、イベント以外には使用しません。）

※申込み期限：7 月 10 日（木）17:00 まで（定員になり次第締切り）

●開催場所



粘菌って？

粘菌（変形菌）という言葉聞いたことがありますか？“菌”とつくので、カビやキノコなどの菌類の仲間だと思っている方も多いのではないのでしょうか。粘菌は菌類ではなくアメーバの仲間なのです。アメーバのような姿で自由に体の形を変化させて（変形体）、朽木や落ち葉の上を動き回りながらエサであるバクテリアやカビなどを食べて成長します。そして胞子を飛ばすためにキノコのような形に変化します（子実体）。様々な形や色をした小さな生き物“粘菌”の生態的役割はまだ分からない点が多いそうです。

今回、粘菌について学び観察することによって、意外と身近にあるこの不思議な生き物について知っていただき、生き物を見つけることの楽しさ、自然観察の楽しさを感じていただければと思います。ちなみに、和歌山県出身の博物学者、南方熊楠は粘菌の研究で有名です。

●スケジュール（予定）

時間	内容
9：30	開会式
9：35	粘菌についての学び（研修室）
10：05	粘菌の観察・採取（フィールド）
10：55	観察・同定・標本づくり（研修室）
11：45	閉会式・まとめ・アンケート
12：00	解散

※プログラムは天候などにより変更する場合があります。

主催：環境省 近畿地方環境事務所／実施：NPO 法人大杉谷自然学校